

2023年度12年生卒業演劇

# ハムレットの死の舞踏

ミヒャエル・エンデ 作  
佐藤真理子、子安美知子 訳

場所

木津川市 総合文化センター  
アスピアやましろ

日時

6月30日(金)18:00開演

7月 1日(土)14:30開演

7月 2日(日)14:30開演

(開場は各30分前です)

入場無料

対象年齢 中学生以上

NPO法人 京田辺ジュタイナー学校

〒610-0332 京田辺市興戸南鉾立94

Tel 0774-64-3158 Fax 0774-64-3334 学校ホームページ <https://ktsg.jp>

後援:京田辺市教育委員会 木津川市教育委員会

## ごあいさつ

本校の12年生（高校3年生）は、学びの集大成としてクラス全員で演劇に取り組みます。今年は、ミヒヤエル・エンデがドイツの民話に着想を得て描いたこの作品を選びました。エンデが伝えたかったことは何なのか、演技、演出、大小道具、衣装、音響、一つひとつアイディアを形にする過程で話し合い、考え、形にしています。

観てくださった皆さまに楽しんでいただけるよう21人で取り組んでいます。ぜひ足をお運びください。

## クラス紹介

こんにちは。私たち12年生は、面白いと思ったこと、好きなことに全力で取り組む、個性豊かな21人が集まったクラスです。それぞれの好きなことも得意なこともバラバラな分、尊敬できるところもたくさんあります。演劇を作っていく中でもお互いに刺激をもらい、与えられるクラスでありたいと思っています。みんなで一色に揃えるのは難しくても、みんなが違う色を持ちよったからこそできる絵を描く、そんな演劇を作っていきたいです。この学校で、大好きなクラスメートとできる最後の演劇を全力で楽しんでいきます。

## あらすじ

時は中世、ドイツの北西部にある街ハーメルン。街は次々と増えるネズミの害に悩まされ、市の存続が危ぶまれるほどに苦しめられていた。そこに不思議な笛を持つ謎の男が現れ、ネズミを追い出す代わりにある報酬を要求する。

笛吹き男の望んだ報酬とは何なのか？なぜその報酬を望んだのか？報酬を求められた市長たちはどうするのか？この物語は、果たして遠い中世のただの伝説にすぎないのだろうか？

## アクセス

### 山城総合文化センター アスピアやましろ

木津川市山城町平尾前田24番地

JR 木津駅から奈良線に乗り換え北へ2駅、  
棚倉駅の改札を出て右へ、地下通路をくぐって  
西へ進んだ先の大きな建物。徒歩約5分



## ご注意

- ・本作品は残酷な場面を含みますので、対象年齢は中学生以上とさせていただきます。
- ・会場への直接のご連絡はご遠慮ください。
- ・駐車場の数には限りがございます。公共交通機関をご利用いただくか、お乗り合わせの上でご来場ください。